

ふわあい山口

山口県広報誌

1
2005



特集

山口県の未来をひらく人づくり

山口県の教育や人材育成に熱心な気風は、本県の人づくりの特色である「豊かな先見性」「進取の気質」とともに、未来に引き継ぐべき財産といえます。

これまで本県は、幕末・明治維新时期に活躍した先人をはじめ、政治や経済、文化など幅広い分野で優れた人材を輩出してきました。

時代の大きな転換期にある今、県では、県セミナーパークを「21世紀の松下村塾」として、未来をひらき、新しい県づくりを担う人材の育成に取り組んでいます。

県政21

◎目指せ!水素エネルギー社会の実現

◎第11回“しっかり聞いて”

キャンペーン ご応募の状況報告

元気キッズレポート

城下町・萩には歴史遺産がザックザク!

「元気県山口」を支える 人材を育てていきます

時代の変革期

幕末から明治維新にかけて、本県が輩出した維新の志士たちは、激動する社会に果敢に立ち向かい、新たな時代を切りひらきました。

今日、社会経済のグローバル化や地方分権が進み、わが国は明治維新戦後と並ぶ大きな変革の時代を迎えています。この流れの中で、山口県が埋もれることなく、地域としての確かな価値をつくり出し、存在感ある地域社会を築いていくことが強く求められています。

県では、地方分権時代にふさわしい、自主・自立の地域社会を築いていく人材を育てるため、山口県ひとり財団を設立し、県セミナーパークを拠点にした、「21世紀の松下村塾」づくりを目指しています。

「県セミナーパーク発！ 21世紀の松下村塾」

りからということですね。
松陰 そこで、県セミナーパークが、二十一世紀の人づくりを進めるための学習の場として生まれ変わったんだ。
晋作 一人ひとりの個性を重視し、自覚を促す。自己の能力を認識し、自覚めさせる。そして、自信を持たせることによって主体的に行動する。まさしく先生の教えですね。

松陰 そうだ。地域リーダーの養成や生涯学習の推進など県独自の多彩な人材育成が進められていくのだ。地域を活性化させるために、人材はいくらでも必要だからね。
晋作 ひとつづつ財団の設立を記念して、フェアが開催されたそうですね。
松陰 記念講演をはじめ、ワークショップやスポーツ大会、夜なべ談議などで、七千五百人の県民が楽しく、生き生きと



晋作 先生、二十一世紀の今、なぜまた松下村塾が求められるのですか。
松陰 今は自立の時代、新たな地域文化を自分たちでつくる時代だ。地方が自らを変え、中央を変えていく必要があるんだ。
晋作 われわれが活躍した幕末期の激動の時代に似た背景がありますね。松陰 山口県も、今後百年の、山口県のかたちをつくり上げていく意気込みで取り組んでいるんだよ。
晋作 そのために、まずは人づくりに、



知事を交えて夜なべ談議

松下村塾
江戸時代末期、吉田松陰(1830-59年)が萩市に開いた私塾。門下生の個性を重視し、当時の世界情勢を念頭に置いて実践的な教育を1年3カ月の間で行った。高杉晋作や伊藤博文などの逸材を輩出した。



右・吉田松陰自賛肖像(県文書館所蔵)

きと学習や交流を行ったそうですね。
晋作 参加者の中から、未来の山口県を担う人材が生まれるといいですね。
松陰 これからの、山口県のかたちをつくるには、県民一人ひとりの力が必要なんだ。だれもが地域づくりや県づくりへの問題意識を持って取り組んでほしいものだ。山口県は人材の宝庫であり、人こそ、山口県の財産だ。その財産を生かせば、山口県の明るい未来が見えてくるはずだ。
山口県ひとり財団
平成十六年四月、山口県教育財団を母体に、県自治研修所、県社会福祉研修所、県生涯教育センターなど、人づくりを担う組織を一体化して設立。



晋作 松陰先生



**みんなで学習
みんなで体験！**
県セミナーパーク(山口市秋穂二島)では、学習支援機能をさらに充実・強化し、ひらかれた人材育成の場として学習・交流の機会を幅広く提供していきます。



協働による県づくりの推進
県民の皆様と行政とが、自立・協働して、地域づくりを進めるために共に学習する場を充実します。
リーダー養成講座
地域で活躍する人材の養成を目指すリーダーの研修
県民自治講座
行政職員を対象にした専門研修を県民の皆様へ開放
生涯学習の推進
自己啓発のための多様なニーズに対応するとともに、幅広い学習活動を支援します。
学習・交流情報の提供
講座内容をインターネットで配信し、学習機会を拡充します。
今後予定の研修はホームページで随時お知らせします。ぜひご利用ください。



介護講座



陶芸教室

【お問い合わせ先】県政策企画課 ☎083(933)2420
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/gyosei/seisaku/index.htm>
(財)山口県ひとり財団 ☎083(987)1400
<http://www.hito21.jp/>



「21世紀の松下村塾」 を目指して

県民の皆様には、すがすがしい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

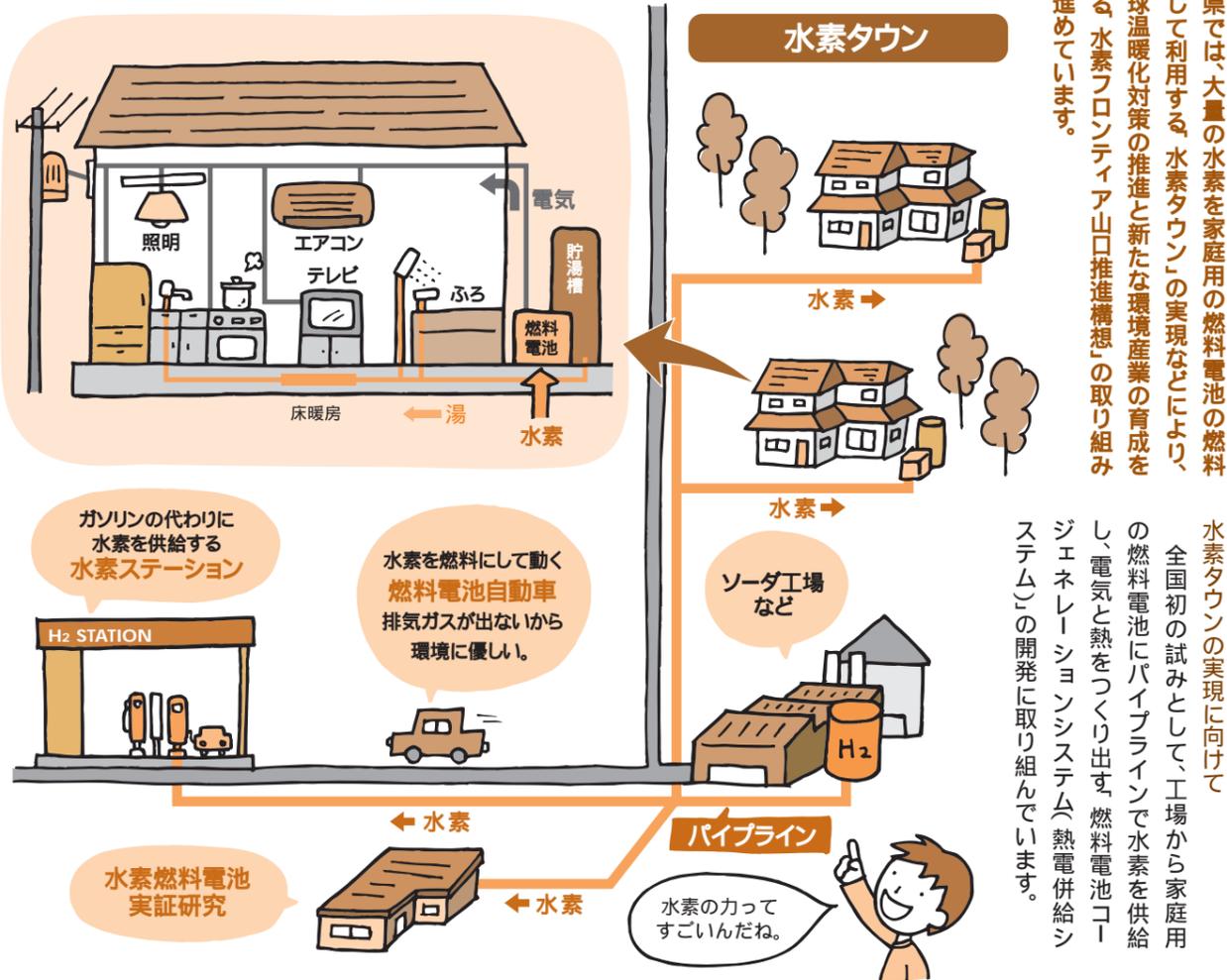
私は、21世紀の県づくりに向けて、県民の皆様と市町村、県とが力を合わせて、それぞれの役割分担のもとで、これからの地方分権時代にふさわしい自主、自立の地域社会をつくり上げていくことが重要であると考えています。そのためには、これまで培われてきた県民の皆様を原動力として、継承・発展させることが必要であることから、ボランティア活動などの県民活動を支援し、活発化させるための基盤づくりを進めてきました。

地方分権時代が本格化する中で、あらためて、未来をひらく人づくりを進めていくことが県づくりの原点であると認識し、昨年、県セミナーパークを拠点にした県独自の人材育成の体制を整え、これを「21世紀の松下村塾」にしていきたいと考えています。今後とも、研修内容の充実・強化に努め、活力ある地域づくりを先導するリーダーの養成や、県民の皆様が多様なニーズに応じた生涯学習を一層進めていきます。

私は、今後100年の「新しい山口県のかたち」をつくるために、「21世紀の松下村塾」を中心とした人づくりに努めるとともに、直面する県政の緊急課題にも全力で取り組んでいきますので、県民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

山口県知事 二井 啓成

水素フロンティア山口の推進



県では大量の水素を家庭用の燃料電池の燃料として利用する「水素タウン」の実現などにより、地球温暖化対策の推進と新たな環境産業の育成を図る「水素フロンティア山口推進構想」の取り組みを進めています。

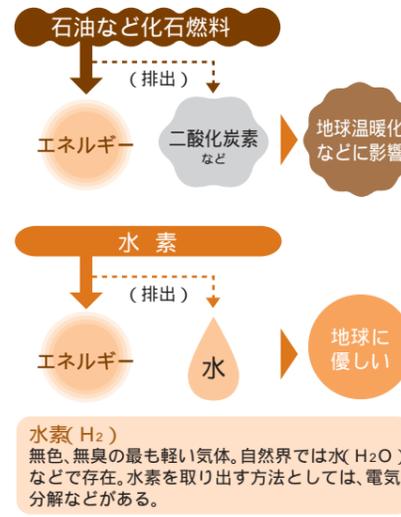
水素タウンの実現に向けて、全国初の試みとして、工場から家庭用の燃料電池にパイプラインで水素を供給し、電気と熱をつくり出す「燃料電池コージェネレーションシステム（熱電併給システム）」の開発に取り組んでいます。

目指せ！水素エネルギー社会の実現

～未来のエネルギー源「水素」の活用～

水素は未来のエネルギー源として世界的に注目されています。水素の生産量は山口県が日本一！今、山口県では水素を使った新たな取り組みが始まっています。

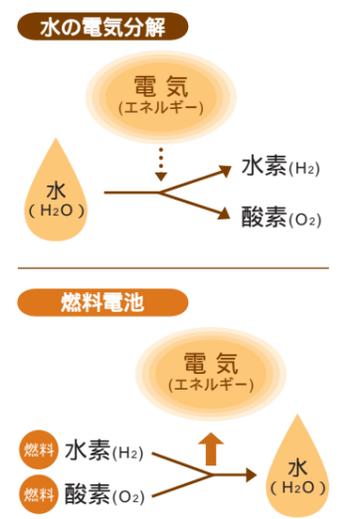
「水素」地球に優しいエネルギー源
水素は石油などの化石燃料と違い、クリーンなエネルギー源です。



「燃料電池」画期的な発電システム
水素と空気中の酸素との化学反応により電気を生み出す発電システム「燃料電池」の開発が、世界中で進められています。

地球の環境問題やエネルギー問題に貢献する燃料電池
石油などの化石燃料のように有害物質を排出しない。
エネルギーに転換する効率が従来の発電システムより優れている。

燃料電池の仕組み
原理を簡単に説明すると、水の電気分解を逆にしたものです。



燃料電池の実用化
燃料電池を使った自動車の生産はすでに始まっています。燃料電池が皆さんに身近になるのも遠くはありません。



山口県は水素の生産日本一
県内に立地するソーダ工場等の化学工場や石油精製工場などから、副産物として、全国最大規模の量の水素（副生水素）が生産されています。



実現への取り組み

研究体制の整備（平成十六年度）
周南地域の地元企業や燃料電池メーカー、ガス会社、大学、県試験研究機関、行政機関で構成する燃料電池実証研究委員会により研究を進めます。

水素燃料電池実証研究の実施（平成十六～十七年度）
周南コンビナートのソーダ工場の敷地内に燃料電池システムを設置して、耐久性、省エネルギー性などの検証や技術開発を行います。

水素タウンの実現可能性調査（平成十六年度）
工場で生産された水素の供給方法の検討や安全性の確認をし、水素タウンの実現可能性について調査します。

水素タウンモデル事業の実施（平成十八年度）
工場周辺地区の家庭に燃料電池システムを設置し、日常生活で使用する電気や温水を供給する試験的事業を実施します。

【お問い合わせ先】
県環境政策課

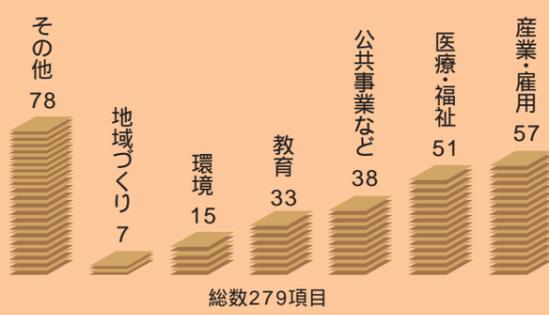
☎083(033)2690
http://ec.pref.yamaguchi.jp/total/1_maintain/h2frontier.html



第十一回 じっくり聞いて キャンペーン 「心算の状況報告」

県では、県民の皆様のご意見を県政に反映させるため、本誌九月号などを通じて、第十一回じっくり聞いてキャンペーンを実施しました。

キャンペーンの実施状況
今回は、これからの県づくりについてお聞きし、百八十八人の方から少子・高齢化を中心にたくさんのご提言をいただきました。



「提言」の紹介

すべてのご提言を掲載することはできませんので、その一部をご紹介します。
仕事をしながらでも、安心して子育てができる環境づくりをするべき
児童虐待の早期発見などの体制づくりをするべき
高齢社会の今、高齢者の力を活用する仕組みづくりをするべき
学校給食に地産・地消を取り入れ、元気な子どもと郷土愛を育てるべき など

「事業化」の状況など

現在、「ご提言を踏まえ新たな事業の展開や事務改善の検討を進めています。」
事業化の状況などは、今後「ふれあい山口」などを通じて、皆さんにお知らせすることにしています。
これからも、県民の皆様のご提言をしっかりと聞き、「県民が主役となる県政」を進めていきます。

【お問い合わせ先】

県広報聴取課
☎083(033)2560

城下町・萩には歴史遺産がザックザク!

萩開府四百年を記念して昨年十一月、萩市堀内に「萩博物館」がオープンしました。同博物館は萩まちじゅう博物館「の中核施設」としての役割を担います。その萩まちじゅう博物館とはどんなものなのかを知ろうと、地元中学校の四人の皆さんが、高木館長から話を聞いた後、江戸時代の古地図を携え、堀内のまちの中に潜り歴史遺産を探してきました!

今月の先生



萩まちじゅう博物館 館長 高木 正昭さん

今月のキッズ

萩市立萩西中学校の皆さん



宇佐川 瞳さん(2年生)



藤本 淳志さん(3年生)



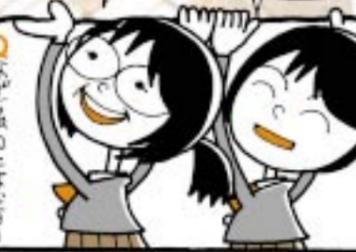
山谷 義貴さん(3年生)



横田 早央里さん(2年生)

萩博物館
萩市大字堀内355番地
☎0838(25)6447
開館時間:9時~17時(入館は16時30分まで)
休館日:なし
入館料:大人500円、高校生・大学生300円、小学生・中学生100円

江戸時代の地図の上に現在の地図を重ね合わせてみました!



Webまちじゅう博物館にアクセス!
<http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/machiju>

萩城を
送る毛利様は
江戸時代の
地図と今地
図を比べると
昔の町割が今も
残っていることが
見えてくるはず
じゃ。

萩城を
送る毛利様は
江戸時代の
地図と今地
図を比べると
昔の町割が今も
残っていることが
見えてくるはず
じゃ。

萩城を
送る毛利様は
江戸時代の
地図と今地
図を比べると
昔の町割が今も
残っていることが
見えてくるはず
じゃ。

きらめきネットワーク

地域を元気にするグループ

お問い合わせ先
豊笑家倶楽部
☎0820(23)9822

私たちは、柳井市内の市民活動団体同士のネットワークづくりを中心に活動しているグループです。平成十一年八月に、市の総合計画づくりのワークショップ等に参加した仲間が会を立ち上げ、中心市街地の活性化を目指して、地元商店街との共催イベントやクリスマスイベントの運営などを行ってきました。



市民活動交流サロン



取り組みの内容を情報発信

平成十三年度からは、活動団体同士の助け合いを地域通貨での思いから、地域通貨「いね」の運用に取り組み、「いね」の普及に向けた仕組みづくりを研究しています。さら今年度は、夏から秋にかけて、市民活動交

流サロン」を三回開催し、行政と市民との協働の在り方について市民活動に携わっている皆さんと意見交換も行いました。今後、地域で活動するさまざまな分野の皆さんを結び付ける役割を果たしていきたいと思っています。毎週水曜日には、お茶を飲みながら情報交換してみませんか。

やまぐちカルチャー講座 3



なかはらちゅうや 中原中也(前編)

私と中也との出会いは、とても早い時期からです。兄の本棚に、創元社版の中原中也詩集を見付けて、唐草模様の装丁に乙女心を揺り動かされたものです。この詩集を抱えて榎野川の土手を歩くのが好きでした。戦後、物のないころのささやかなオシャレでもあったのです。その後、中也全集が四回も刊行されたことを考えると隔世の感がします。中也は湯田温泉にあった中原医院の長男として生まれました。祖父政熊・父謙助の跡を継ぎ、医者になることを周囲から期待されたようです。けれど中也には表現したい思いがあふれていて、家族の願いに背いて上京する結果になりました。

うしなひし さまざまのゆめ、森竝は 風に鳴るかな、ひろがりて たひらかの空、土手づたひ きえてゆくかなと、作品朝の歌の一節を口ずさむとき、中也の人生への悔恨と哀惜の念が、ひしひしと伝わってきます。文学の夢を実現したい焦りと、ふるさとを思う心が入り交じっている中也の詩に出会えたのは、私の青春の一刻でもあったのです。



中原中也(1907-37年) 山口市出身の詩人 詩集「山羊の歌」在りし日の歌、など

イベントカレンダー

- 1月**
- 1(祝) 初日の出を城山で
岩国市・岩国城ロープウェイ
 - 初日の出は大平山で
防府市・大平山ロープウェイ
 - 2(日) 二見夫婦岩しめ縄張り神事
豊北町・二見漁港、二見夫婦岩
 - 7(金) 大黒市
下松市・妙見宮齋頭寺
 - 10(祝) 蜂ヶ峯クロスカントリー大会
和木町・蜂ヶ峯総合公園 ほか
 - 16(日) 上関神明祭
上関町・沖の浜
 - 30(日) 中国山口駅伝競走大会
宇部市役所前スタート～阿知須町～小郡町～山口市～防府市～周南市役所前ゴール
- 2月**
- 2(水)・3(木) 牛替神事・節分祭
防府市・防府天満宮
 - 3(木) 龍泉寺節分祭
豊浦町・龍泉寺
 - 3(木)～4月/3(日) 萩城下の古き雛たち
萩市・旧久保田家住宅
 - 6(日) サザン・セト大島ロードレース大会
周防大島町・周防大島町陸上競技場スタート、ゴール
 - あとう雪まつり
阿東町・十種ヶ峰スキー場
 - 豊田湖ワカサギ釣り大会
豊田町・豊田湖
 - 6(日)～3月/6(日) 梅まつり
光市・冠山総合公園
 - 11(祝) 阿月神明祭
柳井市・阿月
 - 下関ふくの日まつり
下関市・南風泊市場

文化情報

- 矢儀浩嗣絵画展
1月15日(土)～3月25日(金)
周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館(周南市)
- 明治維新をささえた萩の人びと
2月13日(日)まで
萩博物館(萩市)
- やよい絵画展
2月20日(日)まで
下関市立考古博物館(下関市)

プロムナード 県立施設ガイド

県立萩美術館・浦上記念館

☎083(24)2400
シリーズ山東文物5
小さな
御仏たち展(高)②
3月13日(日)まで
毎週月曜日(ただし1
月3日、10日は開館、
11日は休館)12月27
日～1月2日
料一般700円
学生500円



二仏並座像 北魏時代
太和2年(478) 在銘
山東省博興県博物館所蔵

県文書館

☎083(924)2116
第4回文書館デイズ
ポスター・映像に見る
懐かしの
山口県の昭和
1月22日(土)、23日(日)
料無料



県政だより1953年2月号

県立山口博物館

☎083(922)0294
よみがえった貴重
な動物たち(高)②
1月5日(日)～30日(日)
毎週月曜日
料一般130円/学生80円



チョウセントラ

秋吉台国際芸術村

☎0837(63)0020
芸術村あーと・ルーム1月
1月29日(土)14時～16時
料100円

シンフォニア岩国

☎0827(29)1600
もりくみこ
森公美子コンサート
2月6日(日)17時～
料(前売券)全席指定
S席4,000円/A席3,000円
学生席2,000円(高校生以下1,000円)



県立美術館

12ページの「ほっと通信」をご覧ください。

高は70歳以上の方が無料です。×は18歳以下の方および19歳以上の高等学校、中等教育学校、盲学校、ろう学校、養護学校の生徒が無料です。

山口どんな問題!?

今回の特集でご紹介した、「21世紀の松下村塾」づくりを目指している施設は、次の3つのうちどれでしょう。

- ① 県産業技術センター
- ② やまぐち県民活動支援センター
- ③ 県セミナーパーク

応募方法：クイズの答え、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、本誌の感想を記入し、はがき、ファクスまたはEメールでご応募ください。

送り先：〒753-8501(住所不要) 山口県広報広聴課内 「山口どんな問題」係

FAX 083(933)2598
Eメール kohoshi@pref.yamaguchi.lg.jp

締め切り：2月1日(日)消印有効

正解は4月号の誌上で発表。正解者の中から抽選で20人の方に「ふれあい山口」オリジナル図書カードをプレゼント。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます(ホームページ上には掲載)。
http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/gyosei/koho/fureyama/html/08_quiz.htm

10月号の正解は「ア生涯現役社会」でした。
【応募総数 810通】

お便りコーナー

新しくなった「ふれあい山口」は親しみやすく、難しい内容の記事もすんなりと読めそうです。これからは楽しく温かい誌面作りを期待しています。

11月号の特集を読んで、食と緑は切り離せないものだなと強く感じました。私も「やまぐち食と緑の県民フォーラム」の会員になりました。

本誌へのご意見、ご感想をお寄せください。県政へのご意見、ご要望などもお待ちしております。お便りをご紹介することがありますので、匿名希望の方はその旨ご記入ください。



今月の表紙

県セミナーパークは、自然に囲まれた静かな環境にあり、多くの皆さんが研修や生涯学習、スポーツなどに存分に組みこんでいただける施設です。

編集室
あけましておめでとうございます。今年も「ふれあい山口」をよろしく願います。新しい年が皆さんにとって幸多い年でありますように。

山口県産の水産物を首都圏に売り込め!

食の達人 産地招へい事業を実施

<11月1日、2日・長門市>
山口県産の水産物の良さを知ってもらうことを通じて、首都圏での販路の拡大につなげるため、東京地区のフランス料理のシェフや流通業者を招きました。招待したシェフには、実際に調理してもらったり、味わってもらったりして、その素材の良さを実感していただきました。



シェフによる調理の実演



山口県と山東省を結ぶ緑の架け橋

「緑の架け橋地球環境林」植樹交流活動を実施

<11月5日・山東省(中国)>
世界自然文化遺産の山東省・泰山のふもとで、地球温暖化防止のための森林を造成する「緑の架け橋」造成事業をスタートしました。この事業は、山口県と山東省、民間の団体が協働して、「緑の架け橋地球環境林」と名付けた森林を、平成19年度までに、約250畝造成することにしています。



地元の方と一緒に1,500本の植樹を行った交流活動

貴重な文化財を次世代に

周防国分寺金堂落慶式

<11月7日・周防国分寺(防府市)>

平成9年から進められてきた周防国分寺金堂の大修理が終了し、記念式典が開催されました。

国の重要文化財である周防国分寺の金堂は、江戸時代に再建されてから約220年経過し、老朽化したため、県や国、市が支援して、「平成の大修理」が行われたものです。



盛大に行われた落慶式

広げよう! 県民活動

県民活動ボランティアフェスティバルを開催

<11月14日・周南市>

コミュニティー(地域)活動やボランティア活動などの県民活動をさらに発展させるためのイベントが行われました。

当日は、生涯学習や児童福祉等をテーマに話し合う分科会や、「市民、NPO、行政、企業の協働の時代」と題した講演会などが開催されました。



活発に意見が交わされた分科会

竹の魅力を全国に発信

全国竹の大会を開催

<11月18日、19日・萩市民館(萩市)>

本県は全国屈指の竹林面積を有しています。優れた素材である竹について理解を深めていただくために大会を開きました。

17日から23日には、「竹が創る21世紀」と題したイベントも開かれ、竹の繊維を使った衣装によるファッションショーなどを行い、竹の新たな活用方法が提案されました。



竹のデザイン展

インターネットで手続きが便利に

やまぐち電子県庁がスタート

インターネットを通じて、県のさまざまな行政サービスを利用できるやまぐち電子県庁サービスが11月1日からスタートしました。

利用できるサービスには、不動産取得税の申告等の156の手続きや県立きららスポーツ交流公園など22の施設の利用予約があります。今後、サービスを順次拡大していきます。



http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/gyosei/joho-k/e-kencho.htm

県からのお知らせや募集、各地で行われるイベントなどの情報をお届けします。
 問はお問い合わせ先、申はお申し込み先を表しています。
 詳細な情報までは記載できませんので、詳しくはお問い合わせください。
 市町村によって配布日が異なるため、一部既に終わった催しなどがある場合がありますので、ご容赦ください。

お知らせ

「はたちの献血」キャンペーンを行います

1月1日から2月28日までの2カ月間、「はたちの献血」キャンペーンを実施します。

献血は、健康な方であれば、どなたでもできる身近で大切なボランティア活動です。

冬場は例年、献血による血液が不足する時季です。このたび成人式を迎えられる方をはじめ、多くの方々の献血へのご協力をお願いします。

問 県健康福祉センター

各市町村の担当課
 山口県赤十字血液センター
 ☎ 0120 456122
 (フリーダイヤル)



2005年農林業センサスにご協力を

農林業を営んでいる方を対象にした全国一斉に行われる統計調査です。調査へのご協力をお願いします。

調査基準日 2月1日(日)
 調査方法 1月中旬から調査員が訪問します。

問 県統計課

☎ 083(933)2660
 各市町村の担当課

県・市町村中小企業勤労者小口資金をお貸しします

大学や短期大学などへの進学資金を貸し付けています。

対象者 県内に1年以上お住まいで、同一の中小企業に1年以上勤務されている方
 貸付限度額 300万円
 償還期間 10年以内(うち在学中の4年以内は据置可)
 貸付利率 年2.5%
 (別に保証料が必要)
 高等学校などへの進学資金については、貸付限度額70万円、償還期

間3年以内

申 中国労働金庫

問 県労政課
 ☎ 083(933)3215
 県東部労政事務所
 ☎ 0834(33)6441
 県西部労政事務所
 ☎ 0836(21)0561



募 集

くらしの相談員を募集

消費生活に役立つ知識や情報の普及などに消費者の立場からご協力いただく、平成17年度のくらしの相談員を募集します。

応募資格 県内にお住まいの20歳以上の方
 募集人員 53人
 任期 平成17年4月1日～平成18年3月31日
 相談員の主な役割
 ・消費者からの苦情や相談の受け付けおよび報告
 ・消費者としての意見や情報の提供
 ・消費生活に関する各種調査への

協力 謝礼 年額18,000円以内
 応募方法 県県民生活課や各市町村の担当課に用意してある応募申込書に必要事項を記入し、ご送付ください。
 応募申込書はインターネットでも入手できます。
 応募期間 1月6日(木)～2月4日(金)
 申 各市町村の担当課
 問 県県民生活課
 ☎ 083(933)2608

児童福祉月間の標語と絵画を募集

児童福祉月間(5月)の平成17年度の標語と絵画を募集しています。

標語 作品の内容 すべての子どもが未来に夢と希望を持ち、健やかで幸せに育つことを願う内容のもの
 応募方法 はがきに作品(何点でも可)住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、職業または学校名・学年、電話番号を記入し、県児童家庭課までご送付ください。
 絵画 作品の内容 友達や家族と遊んだ思い出を表現した明るい内容のもの
 応募資格 幼稚園児・保育園(所)児、小学生、中学生

応募方法 四つ切り画用紙を使用し、作品の裏面に住所、氏名(ふりがな)、年齢、(所)名または学校名・学年を記入して、県児童センターまでご送付ください。
 応募期限(標語、絵画とも) 2月25日(金)消印有効)
 その他 優秀作品は表彰します。また、最優秀作品は、児童福祉月間のポスターなどに使用します。
 問 申 県児童家庭課
 ☎ 083(933)2754
 県児童センター
 〒753-0811 山口市吉敷木崎
 ☎ 083(923)4633

催 し

「防災とボランティア」講演会を開催

防災対策に必要な知識を得ていただくとともに、自主防災活動やボランティア活動について、理解を深めていただくための講演会を開催します。
 日程、会場 1月20日(日)13時30分～16時30分
 大島文化センター(周防大島町)
 講師
 ・瀧本浩一さん(山口大学助教授)
 ・富永登志也さん(兵庫県北淡町総務課副課長)
 入場料 無料

問 県消防防災課
 ☎ 083(933)2367

いのち 生命のメッセージ展in山口
 ～やまぐち被害者支援～を開催
 生命の尊さや、犯罪被害者・遺族の方への支援について理解を深めていただくための催しを行います。
 日程、会場 1月28日(金)～30日(日)
 アスピラート(防府市)
 内容 被害者等のメッセージや遺品(靴)の展示、遺族の方による講演、被害相談コーナー、コンサート など
 問 県警警察県民課
 ☎ 083(933)0110

ふるさと山口企業合同就職フェアを開催

今春、大学等を卒業予定の方や求職中の社会人の方などを対象に、県内企業の採用担当が直接面接する就職フェアを開催します。
 日程、会場 2月7日(日)10時～15時
 山口グランドホテル(小郡町)
 (今春、大学などを卒業予定の方は12時～15時)
 問 県若者就職支援センター
 ☎ 083(976)1145



パブリック・コメントの募集

次の計画やビジョンなどに、県民の皆様の声を反映するため、ご意見を募集します。

計画案など	内 容	募集期間	お問い合わせ先 および送付先
県地域福祉支援計画	だれもが住み慣れた地域でその人らしく暮らせる社会を目指し、地域福祉を推進する市町村の取り組みを支援する計画	12月21日(日)	県厚政課 ☎ 083(933)2720 ☎ a13200@pref.yamaguchi.lg.jp
次世代育成支援行動計画	子どもや家庭を社会全体で支える「やまぐち子育て文化の創造」を目指し、今後の子育て・少子化対策を進めるための基本になる計画	1月21日(金)	県児童家庭課 ☎ 083(933)2754 ☎ a13300@pref.yamaguchi.lg.jp
県景観ビジョン	山口県の良好な景観を守り、育て、活用し、美しいまちづくりを進めるための基本方針	12月21日(日) 1月26日(日)	県都市計画課 ☎ 083(933)3725 ☎ a18400@pref.yamaguchi.lg.jp
県立高校将来構想	社会の変化や生徒のニーズの多様化、少子化に対応し、本県高校教育の一層の充実を図るための将来構想	1月5日(日) 2月4日(金)	県教職員課 ☎ 083(933)4554 ☎ a50200@pref.yamaguchi.lg.jp

計画案などは、県のホームページや県情報公開センター(県庁1階)地方県民相談室でご覧いただけます。

問 県広報広聴課 ☎ 083(933)2560 http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/gyosei/koho/pb/public.htm

住宅相談のお知らせ

きらめき住まいづくりセンター(山口市)では、住宅相談を行っています。料金は無料です。気軽にご利用ください。なお、法律相談は予約が必要で、建築相談は予約された方が優先になります。

	受付日時	相談内容	相談員
建築相談	毎週土、日曜日 13時～15時30分	住宅に関する建築技術などの相談	建築士
法律相談	第4木曜日 13時～15時	住宅に関する法律の相談	弁護士(建築士も同席)
一般相談	休館日を除く毎日 10時～15時30分	住宅に関する簡単な相談	センター職員

日程が変更になる場合がありますので、お問い合わせください。
 問 申 きらめき住まいづくりセンター
 ☎ 083(932)6800 (毎週水曜日、祝日は休館)

開放講座のお知らせ

体力クリニック

筋力や全身持久力など10項目の測定を行い、その結果を基にあなたの今後の健康づくりについて助言します。

日 時: 1月11日(日) 13時15分～16時
 2月 8日(日) 9時15分～12時
 3月 8日(日) 13時15分～16時

都合の良い日を選んでお申し込みください。

定 員: 各15人(事前に予約が必要です。)

会 場: 県健康づくりセンター(山口市)

受講料: 500円

問 申 県健康づくりセンター

☎ 083(934)2200



地産地消 ぶすうましシビ



くにくいゆきこ 國次幸子さん(周防大島町)

冬といえばミカン。今回はミカンを皮ごと使い、ビタミンや食物繊維をたっぷり取れる一品です。ほんのりミカンの香りが残る焼きたてをお召し上がりください。

ミカンぶちパン

材料(4人分)

- ミカン小2個
- A...{ 強力粉300g
- 砂糖30g
- 卵小1個
- ドライイースト6g
- 塩4g
- バター45g

1人分 426kcal

作り方

ミカンのへたを取ってよく洗い、皮ごとミキサーにかける。
ボウルに とAを入れ、耳たぶぐらいの固さになるまでよく手でこねる。
の上にラップをして温かい所に置き、2倍の大きさになるまで、約30分間寝かせる。(一次発酵)
を1、2回こねてガス抜きし、包丁で20個に切り分けて丸める。全体をぬれぶきんで包み、さらに30分間寝かせる。(二次発酵)
の上部に包丁で十字に切り込みを入れ、180 のオープンで13分間焼く。



これ知
Guess what?
うちよる?

今月の

やまぐち
再発見

焼くのになぜ白い?

～焼き抜きかまぼこ～

色とりどりで、形もさまざま、地方ごとに材料や製法に特色のあるかまぼこ。山口県の「焼き抜きかまぼこ」もその一つです。

全国的には、蒸して作る「蒸しかまぼこ」が一般的ですが、山口県では、板の下から加熱した後、表面を焼く「焼き抜きかまぼこ」が主流です。関西など他の地方でも、同様の製法が見られますが、表面をしっかりと焼くので、焼き色が付いています。山口県の「焼き抜きかまぼこ」は、板の下からじっくり火を通し、表面を焼く時間が短いので、表面が白く美しいのが特徴です。その白さから「白焼きかまぼこ」とも呼ばれています。

白くて絶妙の歯ごたえが自慢の山口県名産の焼き抜きかまぼこ。おせちを彩る一品にいかがですか。

KENRITSU SHISETSU ほっと通信

県立美術館 (山口市)

20世紀の巨匠パブロ・ピカソ。その晩年の制作を献身的に支えたのは、45歳年下の妻ジャクリーヌでした。今回の展覧会では、ピカソの没後、彼女が相続し、今までほとんど公開されることのなかったコレクションをご紹介します。

愛するジャクリーヌの肖像をはじめ、130点の展示作品は、ほとんどが日本初公開。この機会をお見逃しなく、ぜひ県立美術館にお越しください。



パブロ・ピカソ
「緑色と黄色の帽子をかぶった座る女」
(1962)

©2004-Succession
Pablo Picasso-SPDA(JAPAN)
Photograph:ImageArt
Antibes(France)

ピカソ展

幻のジャクリーヌ・コレクション
- イメージの変貌 -

【会 期】1月6日(金)～3月13日(日)
【休館日】毎週月曜日(ただし、1月10日は開館、11日は休館)

【料 金】一般1,200円/学生1,000円(税別)



学芸課
けんもち 剣持あずささん

県立美術館
☎083(925)7788